

アジアのゲートウェイ・九州

- ◆ 九州～ソウル・上海・東京は、ほぼ同じ距離に位置しており、九州は、地理的に日本にとって「アジアの玄関口（ゲートウェイ）」にあります。古来より、長崎の平戸・出島のように海外との交流拠点としての役割を担っています。
- ◆ 福岡空港の乗降客数（国内線＋国際線）は、2,468万人(*)と、全国の空港中4位、福岡国際空港から福岡市都心部までのアクセス時間はわずか10分と、世界トップクラスの交通の利便性を誇ります。

* 出所:国土交通省「令和元年(暦年)空港別順位表」

アジア各国へのアクセスの利便性

	福岡	東京 (成田)
空港～都心部	10分	50分
釜山(韓国)	50分	2時間25分
ソウル(韓国)	1時間20分	2時間35分
上海(中国)	1時間45分	3時間10分
台北(台湾)	2時間30分	3時間40分
香港	4時間	5時間15分
ホーチミン (ベトナム)	5時間20分	6時間
バンコク(タイ)	5時間45分	6時間40分
シンガポール	5時間50分	7時間35分

福岡と国内・アジア主要都市との距離

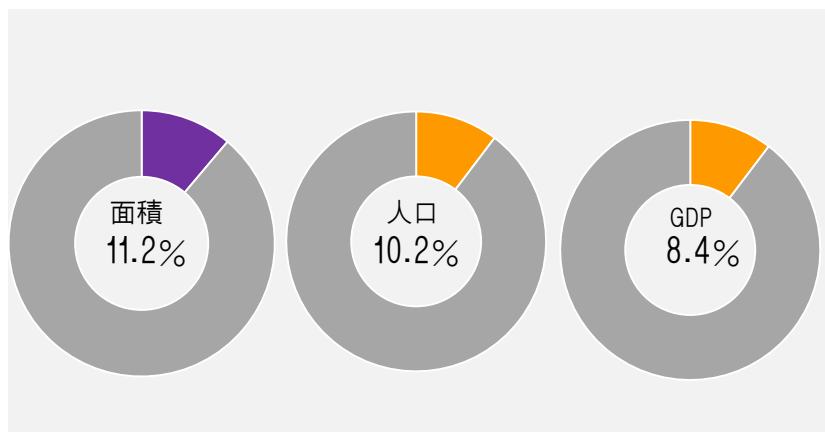


出所:JTBパブリッシング「JTB時刻表」(2020年12月)

一国並みの経済規模

- ◆ 九州は、日本列島の南西部に位置し、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島 の7県で構成されています。
- ◆ 九州の人口は1,301万人で(全国シェア10.2%)、面積やGRPなど各種経済指標も全国の約1割前後であり、九州の経済規模は「1割経済」と呼ばれています。
- ◆ 九州の域内生産は、タイやオーストリアと同等の経済規模です。広い土地、豊富な水、優秀な労働力を背景に、半導体関連産業、自動車産業、農林水産業が主要産業です。

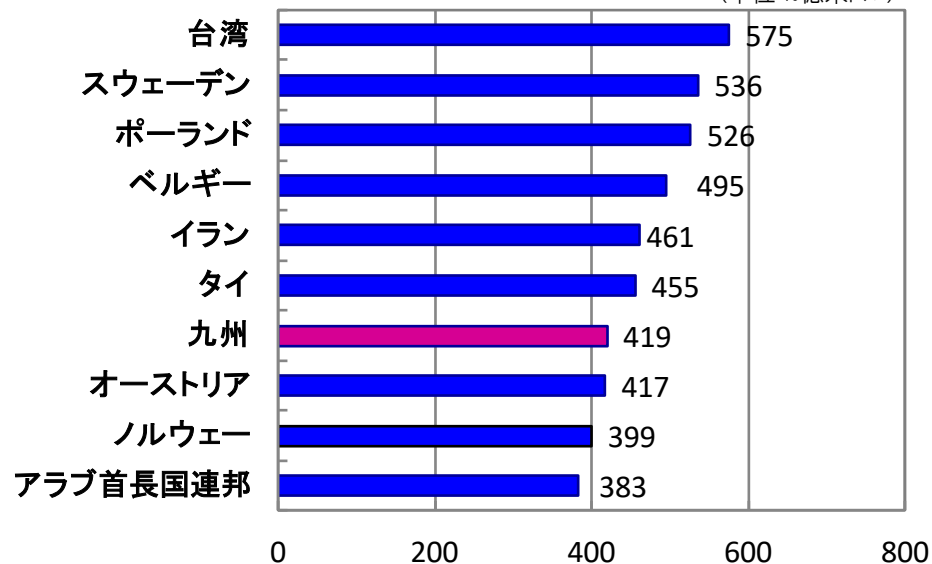
全国に占める九州の面積・人口・GDP



出所：面積 国土交通省「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」
 ：人口 総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」
 令和2年1月1日現在
 ：GDP 内閣府「平成29年度県民経済計算」より九州経済産業局作成

域内総生産の国際比較

(単位:10億米ドル)



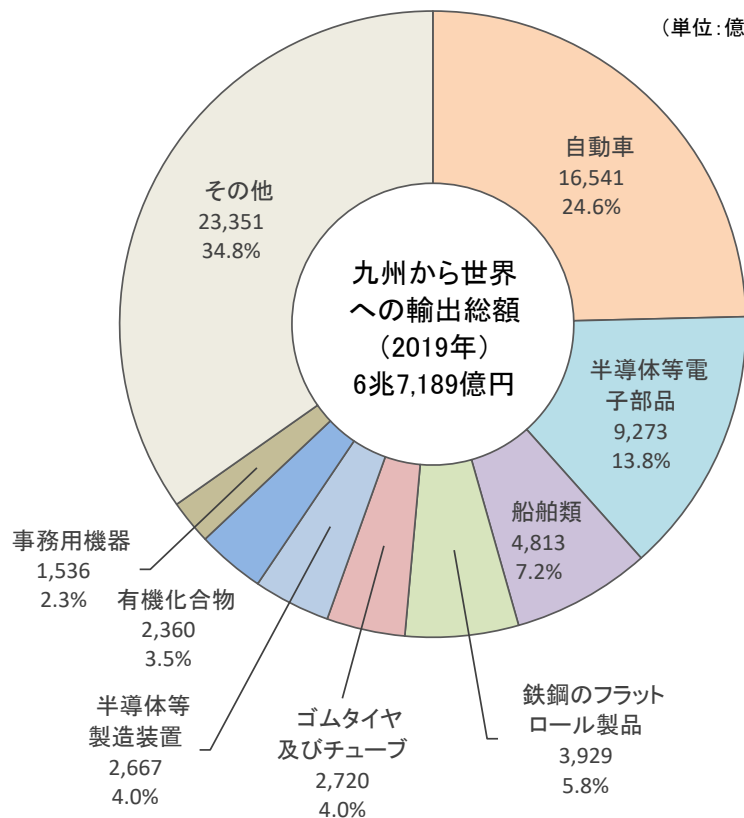
出所：総務省「世界の統計2020」

品目別貿易動向

- ◆ 輸出品目では、金額の多い順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、半導体製造装置であり、この6品目で全体の約6割となっています。
- ◆ 輸入品目では、金額の多い順に、原油及び粗油、石炭、非鉄金属鉱、半導体等電子部品、鉄鉱石、石油ガス類、自動車の部分品であり、上位は鉱物性燃料が多くなっています。

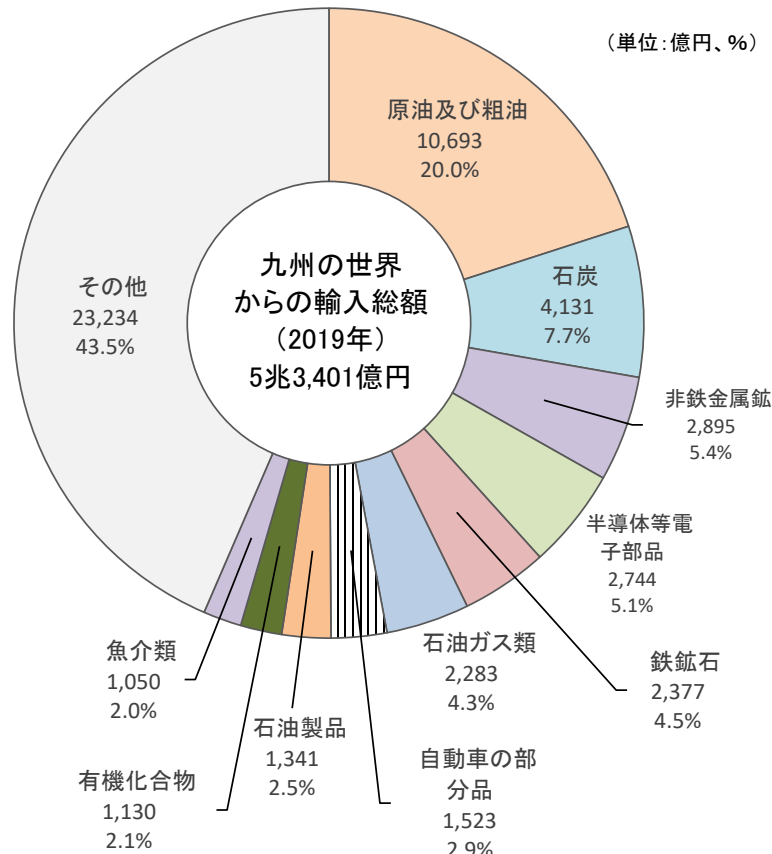
九州から世界への輸出品目

(単位: 億円、%)



九州の世界からの輸入品目

(単位: 億円、%)

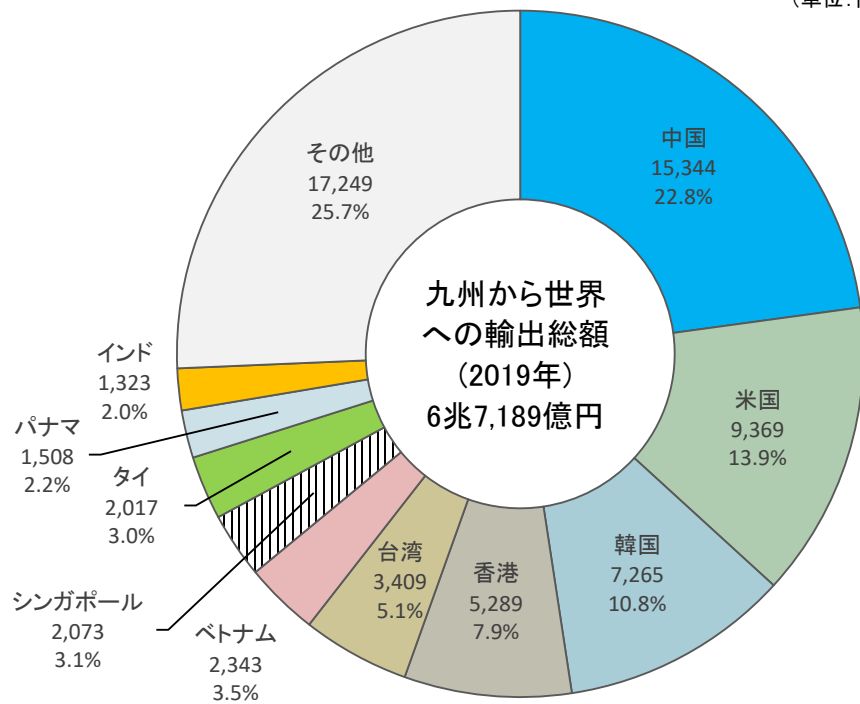


主な貿易相手国・地域

- ◆ 九州の最大の貿易相手国は中国で、輸出の22.8%、輸入の18.8%を占めています。
- ◆ 中国に次ぐのは、輸出では米国、韓国、香港なので、輸入ではオーストラリア、米国、アラブ首長国連邦で、鉱物性燃料の輸出国が上位に多く見られます。

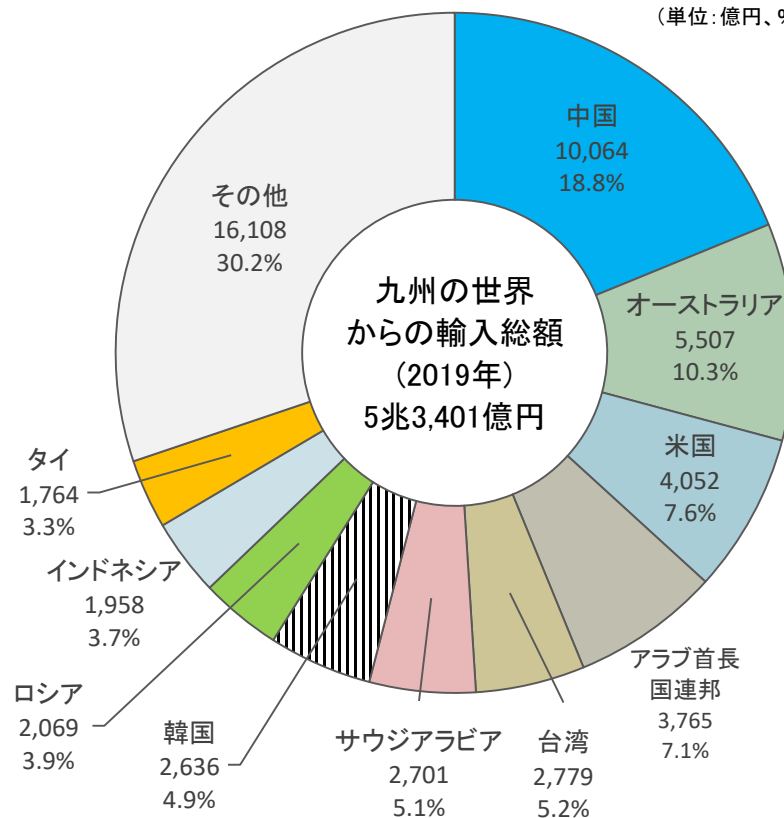
九州の輸出相手国・地域

(単位: 億円、%)



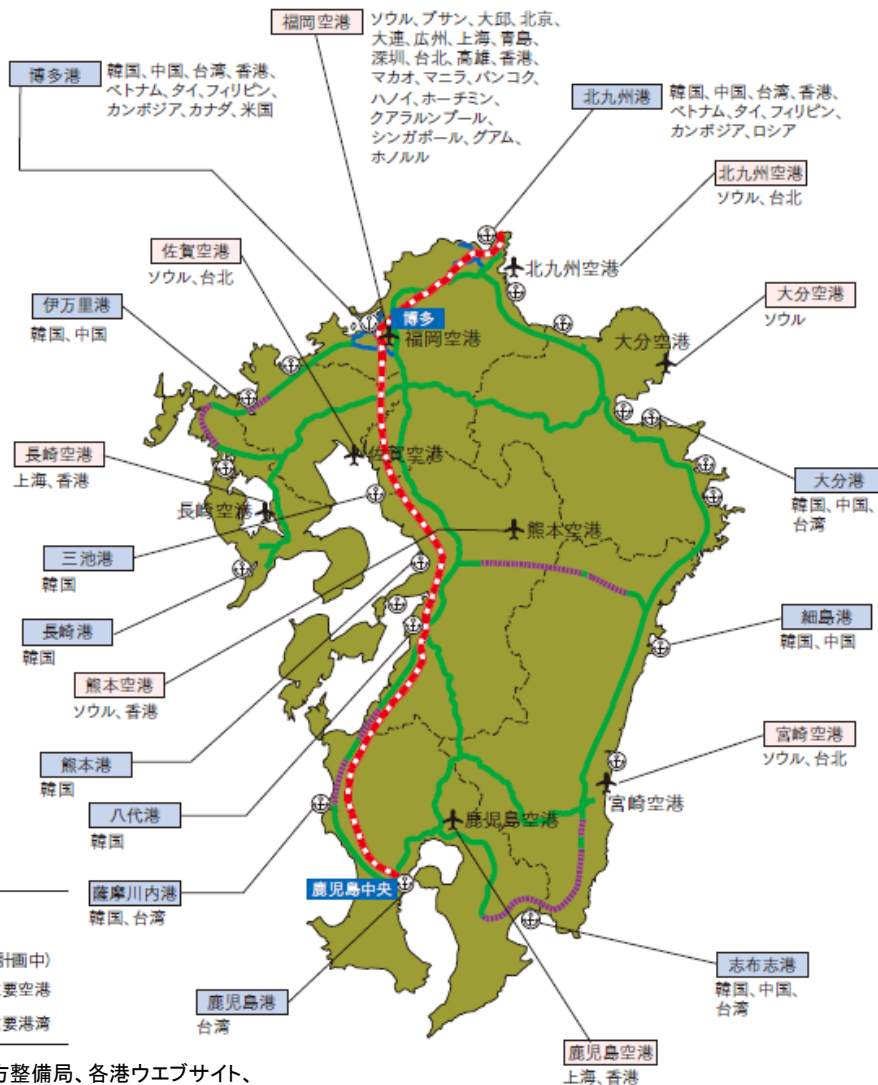
九州の輸入相手国・地域

(単位: 億円、%)



充実した交通インフラ

九州の高速道路／新幹線／国際コンテナ航路(2020年12月現在)



- ◆九州各県には、高速道路、新幹線、鉄道、空港、港湾等の各種交通インフラが整備されています。
- ◆九州新幹線により、博多駅から鹿兒島中央駅まで、九州の南北を約1時間20分で縦断できます。
- ◆2015年4月に東九州自動車道が全線開通し、九州の高速道路がループ状につながりました。自動車による九州内のスムーズな移動が可能となり、各地をつなぐ交通ネットワークの役割を果たしています。
- ◆東京や大阪などの国内だけでなく、空港や港湾からは、アジアを中心とした海外へも交通体系も整っています。特に、アジアの主要都市とのアクセスの良さが九州の特徴です。

出所:九州運輸局、九州地方整備局、各港ウェブサイト、
JTBパブリッシング「JTB時刻表2020年12月号」
【上記における中国は、便宜上、中国本土を表している】